

登米市総合教育会議 会議録

会議の名称	第19回登米市総合教育会議	
開催日時	令和8年1月28日(水)	
	午後3時00分 開会	
	午後4時42分 閉会	
開催場所	登米市役所 3階 第3委員会室	
出席者 氏名	市長	熊谷 康信
	教育長	小野寺 文晃
	教育長職務代理者	高橋 正則
	教育委員	佐竹 美香
	教育委員	須藤 勝子
	教育委員	佐々木 静
	教育委員	佐々木 伸雄
欠席者	なし	
傍聴者	なし	
事務局職員氏名	総務部長	阿部 桂一
	教育部長	新田 公和
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	鹿野 征美
	学校教育課長	猪股 勝徳
	生き生き学校支援室長	高橋 利恵
	教育支援センター所長	箱石 雄悟
	学校再編推進室長	安部 保男
	生涯学習課長	千葉 敬子
	文化財文化振興室長	沼田 芳明
書記	市長公室長副参事兼室長補佐	岸名 紀彦
議題	(1)「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定について (2)教育行政の方向性について (3)登米市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について	

() は、発言なし部分

<p>議題・ 発言</p>	<p>(司会) 阿部次長兼 教育総務課 長</p> <p>熊谷市長</p> <p>(司会) 阿部次長兼 教育総務課 長</p> <p>熊谷市長</p>	<p>(開会 (午後 3 時 00 分))</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第 19 回登米市総合教育会議を開会します。開会時間は午後 3 時といたします。</p> <p>本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 4 第 1 項第 1 号で教育を行うための諸条件の整備、その他の地域の実情に応じた協議、学術及び文化の振興を図るために重点的に構ずべき施策について、総合教育会議で協議や調整を行うことになっています。本日は、市長と教育委員会、両者の教育施策の方向性を共有するための会議であります。</p> <p>はじめに、熊谷市長からご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、総合教育会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、11 日に開催しました「二十歳の集い」には、お忙しい中、また風の強い中、教育委員の皆様にご出席いただき、二十歳の皆さんを祝福していただきましたことに対しまして御礼申し上げます。</p> <p>先週から日本列島に大寒波が居座っており、寒い日が続いております。県内のインフルエンザ感染状況についても増加傾向にあり、市内の小中学校においては、学級閉鎖が増えている状況でございます。委員の皆様におかれましても、健康管理については、十分ご留意をいただければと思います。</p> <p>さて、本日は、3 件の議題を用意させていただきました。1 件目として、「第 3 期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定について、2 件目として、「教育行政の方向性について」、3 件目として、「登米市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」となっております。</p> <p>事務局からは、「第 3 期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」や各種計画について、前回 12 月 1 日に開催した総合教育会議以降、パブリックコメントや小中学校校長会、各種教育関係団体からのご意見を踏まえて、教育委員の皆様方にもご検討いただいたと聞いております。</p> <p>本日は、様々な意見を交換させていただき、教育施策の方向性を共有させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議事の進行に当たりまして、熊谷市長に議長をお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に沿って会議を進めます。</p> <p>議題の(1)「第 3 期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定についてを議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
-------------------	---	--

議題・ 発言	阿部次長兼 教育総務課 長	(配布資料により概要を説明)
	熊谷市長	<p>ただいま、事務局から説明がありました。</p> <p>内容につきましては、前回の内容に、パブリックコメント等の意見を受け、変更箇所はあるようですが、大筋は前回と同様の内容のようでございます。前回もお話しさせていただきましたが、第2期の教育大綱を継承しつつ、国・県の教育振興計画を参酌して、「誰一人として取り残さない持続可能な地域社会を形成し、ウェルビーイングの考え方を取り入れた、幸せや豊かさを感じられるよう取り組むこと」は、私も今後の少子高齢化社会や目まぐるしく変化する社会において大切なことと捉えております。</p> <p>委員の皆様から大綱案について、ご意見等ございますか。</p> <p>(「なし」)の声あり</p>
	熊谷市長	<p>それでは、「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」の策定についての協議は、これでよろしいですか。</p> <p>(「はい」)の声あり</p>
	熊谷市長	<p>それでは、「第3期登米市の教育等の振興に関する施策の大綱」については、原案のとおり決定いたしました。</p>
	熊谷市長	<p>続きまして、議題の(2)「教育行政の方向性について」を議題といたします。事務局から資料の説明をお願いします。</p>
	阿部次長兼 教育総務課 長	(配布資料の概要を説明)
	熊谷市長	<p>ただいま、事務局から第3期登米市教育振興基本計画について、また、令和8年度登米市教育基本方針(案)並びにアクションプラン(案)について説明がありました。</p> <p>この計画案の内容から、今後の教育行政の方向性について委員の皆様から、ご意見をお伺いいたします。</p> <p>はじめに高橋教育長職務代理者からお願いいたします。</p>
	高橋正則教 育長職務代 理者	<p>今説明いただいた基本方針、アクションプランは、課題も限定され、望まれる姿を目指した取組みの計画になったと思う。目指す姿を実現するため、学校教育、社会教育について課題等をお話したいと思います。学校教育について1つ目は、マンパワーの充実です。中堅層の教員が少なく、新任で登米市に赴任しても、数年勤務すると仙台圏に戻ってしまう。登米市に住みたいと思える魅力ある研修や取組があればいいと思う。栗原市では市費で教職員を採用して配置している。検討してはどうだろうか。現在、学習支援員を配置し</p>

議題・
発言

ていただいているが、人材が不足しているとも聞く。待遇面での改善を含めた募集も必要ではないか。また、教員が子供と向き合う時間を確保、拡充するため、業務委託を増やすことなどで教員の業務を整理する必要があると思う。

2つ目は、教育環境の整備で、小中学校の統廃合の計画について計画通りに進まないというのが実情だと思う。限られた人員の中では、タイムスケジュールに遅れが生じることがあると思う。遅れないように進めていくためには、行政職のマンパワーを充実させる必要があるのではないかと思う。また、教育環境の整備については、子供たちだけでなく教員もある程度の人員の中で切磋琢磨して若い先生方が育っていくものだと思う。小学校、中学校でクラス替えができる規模というのが、子供たち、教職員、双方にとって大切なことではないか。

次に社会教育では、市管理の生涯学習施設の組織・機能の再編についてです。各施設の潜在的な機能を十分に生かされているか。施設の機能を見直し、整理統合する必要があるのではないかと思う。

指定管理で運営している公民館等の社会教育施設の再編も重要な課題で、施設の老朽化が進み、限られた予算の中で修繕を行う状況を考えると再編計画の立案が必要である。

また、生涯学習施設もマンパワー不足が課題であり、生涯学習に対して高い専門的な知見を持つ人材の育成と採用が必要である。

学校教育、社会教育どちらもマンパワーの充実が重要であり、予算の確保について拡充いただきたいと思う。

熊谷市長

中堅層以上の教員の確保については、全国的に教員不足が課題で、優秀な人材の確保は、なかなか難しい状況であると捉えています。35人学級制の早期実現など国に働きかけていきたいと考えています。研修については大切であります。教員の負担にならないよう、必要な研修を教育支援センターで進めてほしいと思います。

学習支援員の増員と確保については、募集人数に対して人材の確保が難しい状況であると聞いております。支援や配慮が必要な児童生徒が増えていることを踏まえ、適切な支援を行えるよう人材の確保に努めていきます。

業務委託の拡充については、令和7年度から「教員業務支援員配置事業」として、教員業務支援員を、希望する学校に配置して、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制整備と教員の負担軽減を図っております。シルバー人材センターに業務を委託し、主に清掃業務やバスの昇降時の見守りを行っており、令和8年度も継続して取り組んでいきます。

2点目の教育環境の整備促進についてお答えさせていただきます。小中学校の統廃合の計画推進については、今後進めていく中学校再編の見直しと後期計画に掲げる小学校の学校再編については、保護者や地域の理解を得ながら取り組むと共に、「いつまでに」「何を」「どのように」達成するかを具体的に示したロードマップを作成し、学校再編全体の方向性を明確に見える化しながら、計画的に構想の具現化に向けて取り組んでいきます。事務局職員の増員については、学校再編の進捗を見ながら検討していきたいと考えていま

<p>議題・ 発言</p>	<p>高橋正則教育長職務代理者</p> <p>熊谷市長</p> <p>箱石教育支援センター所長</p>	<p>す。</p> <p>次に、市直営の生涯学習施設の組織・機能の改編については、現在、市直営で管理運営している図書館・視聴覚センターは、市民交流と賑わいづくりの観点から、(仮称)地域交流センターの図書館機能の中で検討しています。教育支援センター・生涯学習センターは、教職員の研修や市民の生涯学習の場として定着しております。まずは、現在の生涯学習施設の機能と取組を連携することで、活動の拡がり期待できることから、教育委員会での更なる連携を図っていきます。</p> <p>指定管理で運営している生涯学習施設の統廃合の計画立案については、現在、市内の公民館等は、人口減少や施設の老朽化が進み、管理運営に係る経費が年々上昇しており、社会教育施設の再編は重要な課題であると認識しています。</p> <p>本市の公民館等は、各地区コミュニティ組織の様々な活動拠点であり、単に施設の再編だけでなく、地区コミュニティの在り方の検討も同時に行われなければなりません。コミュニティの成り立ちや現状が各地域で異なることから、地域の方々との意見交換しながら、丁寧に進めていきたいと思えます。</p> <p>各公民館等の社会教育事業については、地域毎にニーズを捉えた多彩な事業が展開されています。社会教育は、地域の課題解決や安全安心なネットワークづくりにもつながることから、地域づくり事業との効果的な企画や事業実施体制について、情報共有しながら充実を図っていきます。</p> <p>生涯学習専門指導員の配置については、教育委員会には、専門職として社会教育主事が配置されており、公民館等での社会教育事業の充実や、学校教育との連携を図っています。市民の生涯にわたる学びを支えるために「専門指導員」の配置は効果的であると考えますが、公民館職員の社会教育主事資格取得の支援を行いながら、生涯学習活動を推進してまいります。</p> <p>教職員研修については、教育支援センターや総合教育センターで行っている研修ではない研修のことで、先生方が興味を持って自ら学びたいと思えるような研修のことで、教員が足りないという状況にありますが、研修内容が充実して教育環境が充実し、教育予算が潤沢であれば、先生方も登米市に残ってくれるのではないかと思います。</p> <p>教育予算にどれだけウエイトを置くかという部分に関しましては、先生のおっしゃるとおりだと思えました。教員が学ぶ研修のあり方に関しては、教育長とも相談させていただきながら、どういうあり方が望まれているのか掘り起こしさせていただきたいと思えます。</p> <p>現在の研修内容では、先生方は満足しないのかなと痛感しました。具体的なテーマをもった研修というところで、生成AIの使い方の勉強会など、先生方の興味が湧くような研修など今後考えていきたいと思えます。</p>
-------------------	---	---

<p>議題・ 発言</p>	<p>熊谷市長</p> <p>佐竹美香委員</p>	<p>次に、佐竹委員お願いします。</p> <p>登米市の社会教育の在り方について、市長の考えを伺います。 誰一人として取り残されないために学習機会を提供していくことが大切だと思います。学習機会を提供していくためには、公民館事業が重要であり、地域に根差している場所だからこそ、利用価値があると感じます。</p> <p>また、登米市にある社会教育施設の活用方法についても検討が必要と感じます。来館者が少ない施設については、今後の維持・運営を考えたときに登米市民に必要とされる施設でなければいけないと思います。市と市民が意見交換できる機会があれば良いと思います。</p> <p>令和8年度アクションプラン（案）の公民館事業についてお伺いします。公民館の利用について、社会教育主事・社会教育士の配置、促進・育成がポイントになると思います。人口減少や様々な課題が山積している中で、前例がないからではなく、前例では合わなくなっているから様々な意見がでてくるので、課題の分析をしっかりといただき実施案を出してほしいと思います。</p> <p>また、市民からいただいた意見で取り組みそうなものは、どんどん取り入れていく環境づくりが大切ではないかと思います。社会教育主事・社会教育士を中心にボランティアなどの協力をもらいながら、市民が参加できる場所を提供してほしいと思います。公民館の活性化は地域の活性化につながります。</p> <p>話は変わりますが図書館アドバイザーを設けましたが、もっと市民のみなさんに知っていただき、図書館機能がより良い方向に行くようにしていただきたいです。図書館の機能を充実させ、公民館と図書館のネットワークを広げるなど市民が利用しやすい施設になるよう取り組みを進めてほしいと思います。</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>公民館は市民の身近な学びの場であり、地域の活動拠点であります。各公民館等においては、地域に根差した多彩な事業が展開され、地域の拠り所であると認識しています。人口減少と施設の老朽化が進む中、持続可能な学びの場と地域の活動拠点をどう維持していくかが課題であります。学校と同様、公民館も地域の方々の拠り所であり、公民館施設の再編に留まらず、コミュニティをどのように維持していくかについても、地域の方々のご意見を聞きながら検討していく必要があると考えています。</p> <p>今後の地域づくり、まちづくりにも関わる大事な検討課題となりますので、教育委員会とまちづくり推進部との連携が必要であるとと考えています。</p> <p>地域における社会教育に関わる人材の育成については、公民館職員の社会教育主事資格取得の支援を行っており、現在20名の社会教育主事が活躍しています。公民館での学びをきっかけに、地域や日常生活への関心を高め、地域課題の解決につながるよう生涯学習の充実を図っていく必要があります。教育委員会と各公民館の社会教育主事が連携を図り、研修や情報交換を通じた好事例の横展開等で各公民館事業の活性化に取り組んでまいります。</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>また、図書館アドバイザーについては、令和7年度から図書館の管理運営や整備に精通した方を登米市図書館アドバイザーとして委嘱しています。市民に図書館への愛着や理解を深めていただくとともに、図書館サービスの改善を図るため、市民を巻き込んだワークショップの開催や図書館サービス向上のための研修会を開催し、ホームページや図書館だよりで周知しているところです。令和8年度においても、市民が利用しやすいサービスとなるよう、こうした取り組みを継続し広く市民に周知していきます。</p> <p>図書館機能の充実や公民館とのネットワークについては、現在進めている（仮称）地域交流センターの基本設計等を踏まえ、総合的に判断し、新図書館機検討委員会の検討結果報告書や図書館協議会のご意見も参考とさせていただきながら、市民が利用しやすい施設となるよう取り組んでいきます。</p> <p>佐竹美香委員 各公民館は頑張っていると思います。先日も登米公民館のなないろフェスティバルを見に行きました。あの規模の事業を公民館で行うのは大変だったと思います。だからもっと市がPRをしていただけたらなと思います。</p> <p>熊谷市長 情報発信に努めていきたいと思います。 次に、須藤委員お願いします。</p> <p>須藤勝子委員 私は学校の学力と不登校についてお話ししたいと思います。 登米市の学力が全国平均を下回っている状況については、原因の一つとして学習時間の少ないこと、テレビやゲームの時間が長いこと等の原因があると思います。オーストラリアやフランスではSNSを禁止すると報道されました。登米市の児童生徒の学力は、全国を下回っているのは事実なので、児童生徒の学力を伸ばしていくことは、学校教育の大きな使命として、力を入れて取り組むべき大きな課題であるが、登米市の大きな問題として具体策を講じることはできないか。 次に、登米市の不登校児童生徒は12月の段階で、小学生88名、中学生139名。200人以上の子供たちが学校に来ていないこととなります。全体の割合でみてもかない多い人数だと思えます。けやき教室やケアハウス、訪問指導、カウンセラー等で支援をしているが、まだまだ一部の児童生徒に留まっている。中田の教室に親が送り迎えしているが、仕事の都合、あるいは運転できる人がいない等の事情で送り迎えができず、家にこもったままの児童生徒がいると聞きます。こういった不登校児童生徒のためにスクールバスを出すとか、送り迎えの支援があれば、けやき教室に通える子が増えるのではないかと思う。予算の話になるが登米市の支援に期待したいと思うが。</p> <p>熊谷市長 学力向上については、本市の大きな課題であると認識しております。学力調査の結果を活用した分析と対策により、学校がチームとして授業改善に取り組むとともに、学習習慣や生活習慣、メディアコントロールの見直しや改善も含め、学校と家庭が共通理解のもと</p>
-------------------	---

<p>議題・ 発言</p>	<p>連携して対策いくことが大切であると考えています。</p> <p>今年度から市の標準学力調査は、教科を絞って実施しており、これまでよりの確かな分析や具体的な対策に繋がれると思います。具体的な対策・実践については、学力向上対策委員会や研修会等を活用しながら進めて行くことが重要であると考えています。</p> <p>不登校児童生徒への支援については、児童生徒の居場所づくりや学習支援につなげていくことが重要であると捉えています。さくらの木への通所手段等も含め、課題を整理しながら支援体制の整備に努めてまいります。</p> <p>また来年度、不登校対策として新たな組織の立ち上げを予定しており、不登校児童生徒を増やさない対応と、様々な支援の検討に努めてまいります。</p> <p>様々な自治体で子供たちの支援のあり方を検討していますが、多様化学校の設置も含め、支援の方法、サポートのあり方を検討しなければいけないと思っておりますので、今後も皆さんのご意見をしっかりと伺いながら不登校対策を進めてまいります。</p> <p>熊谷市長 次に、佐々木静委員からお願いします。</p> <p>佐々木静委員 将来の登米市の文化財保護、継承を考えると少子高齢化が、加速する中、10年後、20年後を見据えた活動が必要であることを市民の方々に実感して頂くことが重要ではないかと考えます。</p> <p>そのため、10年前の人口と今の人口の差、10年後の予測される人口をグラフ化し、人口減少の危機感を感じてもらい、登米市の文化財保護、継承を進めていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>子供たちには、映像ではなく実際に演じて見せ、迫力や演技の素晴らしさを感じてもらい、興味、関心を持ってもらうことで、次の世代の後継者づくりをしていかなければ、後継者が途絶えてしまうのではないかと考えます。子供たちには、本物を与え、見せ、感動してもらうための場所の提供が必要であると考えます。</p> <p>登米市の文化財保護、継承を培うためには、学校の文化・芸術の鑑賞や発表の事業の中に、登米市の民族芸能の鑑賞を取り入れてはどうだろうか。現在、地域ごとに守り、伝えているものが多いように思う。これからは、登米市で守り、後継者を作っていく必要があるのではないかと。</p> <p>地域を超えて登米市の財産を守って行くため、身近にある素晴らしい文化・芸術を一人でも多くの子供たちに知らせる機会を与えることが大切だと思います。</p> <p>熊谷市長 文化財の保護・継承については、少子高齢化が進み、一層難しくなっていると認識しています。市では、平成30年3月に地域承文化振興方策を策定し、とめ伝承芸能まつり、出前公演、体験会、SNS等での動画配信、紹介冊子作成などを通じて振興を図ってきました。</p> <p>伝統芸能伝承館「森舞台」での公演会開催や、イベント会場での特設舞台を設置しての公演など、演者と観覧者がより近い距離で伝承芸能に触れ合えるよう努めています。また、伝承文化を学ぶ子供</p>
-------------------	---

<p>議題・ 発言</p>	<p>たちの発表機会の確保にも努めてきました。</p> <p>保護・継承については、保持する側だけではなく、観る側と支援する側の人を増やして行くことも必要であると考えており、今後も各事業を通じて文化財の保護と継承を図っていきます。</p> <p>令和6年度では、小中学校の授業として伝承文化を学んでいる学校が14校あり、16の団体が指導にあたっています。平日の指導者の確保が難しい面もありますが、市としても指導を行う保持団体への支援を行っています。</p> <p>学校統合において、旧学校での取り組みを引き継ぎ、地域で子供たちの受け皿となって継承者を育てているケースもあります。今後も関係機関と連携しながら、子供たちが伝承文化に触れる機会を増やしていきます。</p> <p>熊谷市長 次に、佐々木伸雄委員からお願いします。</p> <p>佐々木伸雄委員 地域で子供を育てるという事は、単なるボランティアではなく、地域住民一人一人の生涯学習としての教育力向上に繋がるという意識づくりにより力を入れる事が大切ではないか。</p> <p>地域スポーツの推進や部活動支援の観点から、総合型スポーツクラブ、体協、スポ少等の連携を図るため各団体の実情、将来に向けた情報共有をする場が必要だと思う。</p> <p>地域では、自主防災組織を作っているものの、コミュニティとして毎年の防災事業がマンネリ化してしまい参加者が減少している。防災活動関連の好事例などの情報を公民館を通じて発信していくべきだと思う。</p> <p>行政区のしくみは、基本、規模の大小を問わず、行政サービスの平等が求められるが、コミュニティ活動の延長上にある町内会、体協、老人クラブなどの事業活動の活性化を目的とした組織運営は、その規模の大小に影響されるため、より効率的な運営が必要となる。今後は、従来の旧町域に各支部を置く単純な振り分けを見直し、併合や本部一本化も含めた検討について、長い時間をかけて調整を行っていく必要があると思う。</p> <p>熊谷市長 各地域において、家族や学校以外の地域の方々の眼差しや声がけ等の関わりで、子供達の健やかな成長を支援する取り組みを展開しています。学校支援ボランティアの皆様には、学校・家庭・教育力向上対策事業の趣旨をご理解いただいた上で、学校支援活動に無報酬で取り組んでいただいているものと認識しています。学習支援員のように業務命令に基づく勤務ではなく、可能な日時でご協力いただくボランティア活動であるため、取り組む姿勢に温度差があるのが実情とも聞いています。</p> <p>各教育事務所の協働教育地区コーディネーターと各学校の協働教育担当との連携を密にし、地域の学校支援ボランティアの方々に効果的に学校活動に繋げていけるよう取組を進めてまいります。</p> <p>中学校部活動地域展開に向けては、総合型スポーツクラブ、体協、スポ少各団体が委員になり、準備委員会を組織し、その中で様々な情報や課題を共有しています。令和8年度から地域クラブの活動が</p>
-------------------	--

<p>議題・ 発言</p>		<p>本格化しますので、準備委員会で引き続き取り組んでいきます。</p> <p>防災訓練については、佐沼小学校において、学校の取組を核とした防災訓練を実施しているなど、各地域において、公民館や学校等と連携した取り組みがなされています。東日本大震災の記憶も時間の経過により薄れつつある中、各地で地震や大雨等の自然災害が発生しており、災害に備える取り組みの再認識も必要となっています。地域の避難所となる公民館・体育施設もあることから、避難行動や避難所運営について確認する機会を設けられるよう、主たる防災担当部署と連携していきます。</p> <p>人口減少が進む中、地域における組織の役割を担う人材の確保が課題であると認識しています。これまでと同じ組織形態や事業の進め方では、特定の人に負担が集中し、持続的な活動が困難な状況になります。公民館等の社会教育施設の再編の在り方と併せて、皆さんで役割を担いながら支え合える地域づくり・まちづくりに向け、他部署と連携しながら検討してまいります。</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>それでは、「教育行政の方向性について」の協議は、これでよろしいですか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>それでは、「教育行政の方向性について」は、これで終了とし、必要に応じて事務局はその内容について、教育委員会議で、教育委員の皆様を確認をいただくようお願いします。</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>続きまして、議題の（３）登米市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画についてを議題といたします。事務局から資料の説明をお願いします。</p>
	<p>鹿野次長兼 学校教育管理監</p>	<p>（資料に基づき説明）</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>ただいま、事務局から登米市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について、内容の説明がありました。</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>働き方改革を進める主な目的は、教師が授業の質を高め、人間性や創造性を育み、子供たちに効果的な教育活動を提供できるようにすることと認識しております。登米市の子供たちにとっても、働き方改革は大切なことです。</p> <p>今回、総合教育会議に報告が義務付けられたということは、教育委員会と市長部局が連携して進めていくことが大切と感じました。</p> <p>本市の現状として、時間外在校等時間はまだまだ目標を達成していない状況のようですが、少しでも改善できるように、共に考え進めていきたいと思っております。</p>
	<p>熊谷市長</p>	<p>この件について、ご意見等ございますか。</p>

<p>議題・ 発言</p>	<p>高橋正則教 育長職務代 理者</p> <p>鹿野次長兼 学校教育管 理監</p> <p>高橋正則教 育長職務代 理者</p> <p>熊谷市長</p> <p>熊谷市長</p> <p>熊谷市長</p> <p>熊谷市長</p> <p>(司会) 阿部次長兼 教育総務課 長</p>	<p>これが実行できれば、だいぶ学校は変わると思います。 ただし、業務の3分類の整理を行うことはいいが、組み直して誰がイニシアチブを取って実行していくのか具体的なものが示されてない。是非、これを実効的な計画にするため、段取りや順序を踏んだ、具体的な計画を作っていただければと思います。</p> <p>委員ご指摘のとおり、具体的な計画があると私もいいと思います。ただ、学校規模、地域の実情がそれぞれ違いますので、各学校で、どのように取り組んでいくか、最後のフォローアップにも学校運営協議会で、具体的に今年はどこまで持っていこうということを学校ごとに、校長先生と学校運営協議会が中心となり、具体的に進めていただきたいという思いで、校長会議でお伝えしていきたいと思っています。</p> <p>このような取組も出てきていますので、全てボランティアではいかならないと思います。きちんと予算化して、学校運営にも責任を持ってもらう必要があると思います。当然、来年、再来年のことを考えて、市の方では予算化を考えてもらいたいと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。 ほかにご意見ございませんか。</p> <p>(なしの声あり)</p> <p>それでは、登米市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画についての協議は、これでよろしいですか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>それでは、登米市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画については、これで終了とします。</p> <p>議題についてはこれで終了とし、進行を司会に戻します。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第19回登米市総合教育会議を終了とさせていただきます。 閉会時間は午後4時42分といたします。 お疲れ様でした。</p> <p>(午後4時42分、閉会)</p>
-------------------	---	---